



近藤 健一 議員

勝幡駅前周辺事業

質問
事業は平成25年度完了計画であり、23年度から25年度までの計画を年度別に教えてほしいが。

経済建設部長

平成23年度は、海部津島土地開発公社から土地の買戻しをする。工事は勝幡駅西側の踏み切りの拡幅に伴い、道路の切り替えができるよう、都市計画道路の一部を整備する。その他には、勝幡地内の排水整備工事と、駐輪場の一部を予定している。24年度は、勝幡駅周辺の整備工事を主に

予定し、ロータリーの工事、そして駅利用者の動線としての歩道整備、地下道の延伸などを含んでいる。25年度は南側駅舎の建設と自動改札の工事、その他残っている工事すべてと、事業の事後評価を行い完了となる。

質問

以前の図面との違いがあ

るがどうして変更したか。

経済建設部長

以前は設計の方で作成した

図面。今回は関係機関と打ち合わせを行うための資料で、今年度実施計画を委託し、最終に近い図面。

愛西市の今後の財源確保は

質問

市として利用する計画のない土地は売却するとか、有料で貸し付けるのか方法を考えるべきかと思うが、今後どのようにするのか。また、最近駅周辺開発を実施している

ところは、駐輪場専門業者に管理を任せ、市にお金が入り、市の財源の足しになると考える。

愛西市としての考えは。

総務部長

公有財産の台帳整備を図りながら普通財産の洗い出しを行っている。今後さらに精査をしていく中で、有効活用を図ることのできない財産については、最終手段では売却処分というの視野に入れている。

今年度の売却処分の実績は、合わせて4筆、104・68㎡で、

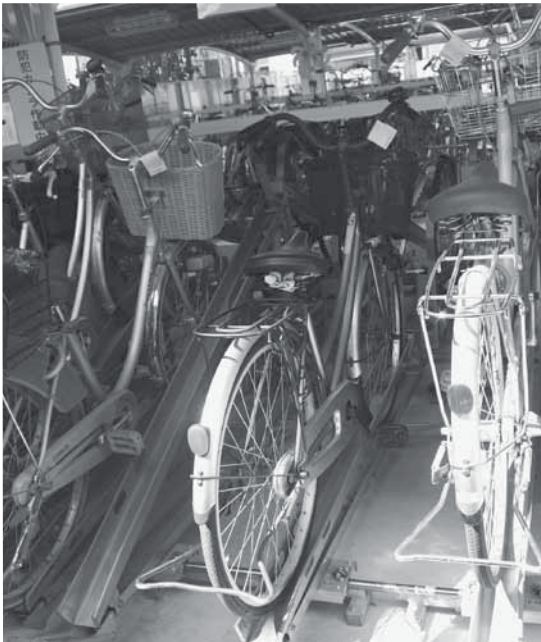
296万80円です。駐輪場については、今の時点としては有料化ということは考えていない。

質問

駐輪場の件で、名古屋市は全部有料駐輪場という形で地下鉄周辺でも行っている。また、名古屋より西でも、菟目寺は有料化している。蟹江町の近鉄駅、JR名鉄一宮駅などが行う予定ときいているがどうか。

市長

愛西市にはたくさん駅の駅がある中で、バランスをとらなくてはいけないが、一度提案してもらった内容は勉強したい。



菟目寺の有料駐輪場